

授業科目名	周産期学（異常編） <i>Perinatology II</i>		担当教員	西田 眞	
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	妊娠・分娩・産褥期における異常と合併症妊娠の病態、治療についての知識を習得する。また、緊急時の処置とその技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠・分娩・産褥期におこりやすい異常について理解できる 2. 合併症妊娠の病態、治療について説明できる 3. 異常が発生した場合の初期対応と医師との連携について理解できる 4. 緊急時の初期対応について説明できる 5. 緊急時の会陰縫合が演習できる 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回 妊娠継続が困難な疾患の病態と治療（遠城幸子：福岡赤十字病院） 不妊、出生前診断(羊水検査)、流産、子宮内胎児死亡、絨毛性疾患 2回 受精卵の着床異常と胎児の発育異常の病態、治療（篠崎智子：福岡赤十字病院） 子宮外妊娠、多胎、胎児発育不全、血液型不適合妊娠、薬物・放射線の影響 3回 異常妊娠と合併症妊娠の病態と管理（遠城幸子：福岡赤十字病院） 妊娠高血圧症候群、前置胎盤（自己血貯血）、常位胎盤早期剥離、癒着胎盤、前期破水、切迫早産、合併症妊娠(心疾患、糖尿病、甲状腺疾患、婦人科疾患、感染症など) 4回 分娩の3要素の異常と対応（篠崎智子：福岡赤十字病院） 分娩促進・誘発、進入異常・回旋異常、CPD、胎位の異常・臍帯の異常 5回 産科救急（遠城幸子：福岡赤十字病院） 一次救急、異常出血 双手圧迫法などの止血方法 6回 産科手術（遠城幸子：福岡赤十字病院） 吸引分娩術、帝王切開術、骨盤位娩出術、人工妊娠中絶、肩甲難産 7回 骨盤底、会陰の解剖、会陰切開方法、縫合デモンストレーション（西田眞） 8回 会陰裂傷縫合の学内演習（永松、石山） 				
学習方法	周産期学（正常編）と連動し、正常からの逸脱の判断ができるための知識習得と周産期におこりやすい異常と緊急時の初期対応について学びます。会陰裂傷縫合は臨地でのデモンストレーションの見学を行った後、学内で各自縫合の演習を行います。				
オフィスアワー	担当教員 西田とメール（ mnishida@fukuoka-med.jrc.or.jp ）等で連絡を取り、日時調整する。				
テキスト	荒木勤：最新産科学 正常編 第22版. 東京，文光堂，2008. 荒木勤：最新産科学 異常編 第22版. 東京，文光堂，2012. 産婦人科診療ガイドライン 産科編. 日本産婦人科学会，2014.				
参考文献	江口勝人：妊娠高血圧症候群のすべて. 東京，メディカ出版，2008. 進純郎：正常分娩の助産術 トラブルへの対応と会陰裂傷縫合. 東京，医学書院，2010. 大石時子：裂傷縫合トレーニングモデル. 基礎編 DVD，東京，高研，2010.				
評価方法	筆記試験(100%)				